未来を、ひろげる。
HIROGIN HOLDINGS

経済産業Report

2026年11月17日
Vol.27

広島の未来を担う「若者」・「女性」・「子育て世代」
～「ひろしまビジョン」改定のポイント～

歯止めがきかない20代の転出超過

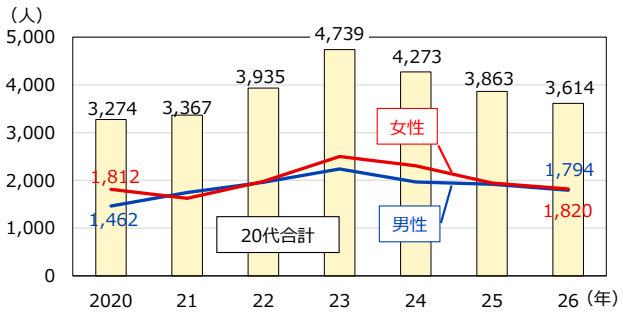
総務省「住民基本台帳人口移動報告」によれば、2026年1-9月の広島県の転出超過数は7,594人で、このまま行くと6年連続で全国最多の転出超過となる見込みです**（図表1）**。広島県では就職を契機とした日本人若年層の流出が兼ねてからの課題ですが、依然としてこうした傾向に十分な歯止めが掛かっていないのが現状です**（図表2）**。

図表１　転出超過数の全国順位（2026年1-9月累計）

	転出超過数（人）		うち日本人	うち外国人
1	広島県	7,594	4,894	2,700
2	新潟県	6,827	7,520	▲ 693
3	静岡県	6,662	7,103	▲ 441
4	長崎県	6,249	5,583	666
5	福島県	6,150	6,429	▲ 279

（注）転出超過数＝県外への転出者数－県外からの転入者数で、マイナスは「転入超過」を表す
（資料）総務省「住民基本台帳人口移動報告」より、ひろぎんHD経済産業調査部（以下、当部）作成

図表2　広島県の20代日本人の転出超過数の推移



（注）2026年は1-9月の数値
（資料）総務省「住民基本台帳人口移動報告」より当部作成

喫緊の課題は「若者」・「女性」・「子育て」への対策

かかる中、広島県は2026年10月、想定を上回るペースで進む人口減少や社会経済環境の変化を踏まえて「安心・誇り・挑戦 ひろしまビジョン（＝県の総合計画）」の改定版を公表しました。この中で、人口減少を県の社会や経済に深刻な影響を与える重要課題として位置付け、今後5年間で特に注力する重点項目として「若者に選ばれる広島県」、「女性に選ばれる広島県」、「子育てしやすい広島県」などを標榜しています**（図表３）**。

また、単なる「施策の実施状況」だけではなく、「実際に若者・女性・子育て世代から選ばれているか」を成果指標として設定するなど、各施策の実効性向上を意識した内容となっています。今後は、これらの取組みが進展し、「若者」・「女性」・「子育て世代」の県内定着や転出超過の改善につながるかが注目されます。

図表3　今後5年間で特に注力する重点項目と主要な取組例（抜粋）

分野	課題	改定版の重点	主な取組例
若者	就職時の県外流出	成長産業の集積や企業誘致を通じ、若者が県内で働きたいと思える雇用機会を創出	半導体・デジタル産業の振興、県内就職促進、大学の魅力向上　など
女性	若年女性の転出超過	女性がキャリア形成しながら働き続けられる地域・職場環境を整備	女性活躍推進、管理職登用促進、柔軟な働き方の普及　など
子育て	希望する結婚・出産・子育ての実現が困難	結婚・出産・子育ての希望を実現できる生活・就労環境を整備	男性育休取得促進、仕事と子育ての両立支援、妊娠期からの伴走型子育て支援　など

（資料）広島県「安心・誇り・挑戦　ひろしまビジョン（改定版）」より当部作成

品質向上のため
アンケートにご協力ください。
PCの方は
コチラを
クリック
※ ナインアウト株式会社が提供するアンケートサイトへ遷移します。

◆ 本資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。
◆ 本資料は、信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、その正確性を保証するものではありません。また、本資料に記載された内容等は作成時点のものであり、今後予告なく修正、変更されることがあります。資料のご利用に関しては、お客さまご自身の責任において判断なされますよう、お願い申し上げます。
◆ 本資料に関連して生じた一切の損害については、責任を負いません。その他、専門的知識に係る問題については、必ず弁護士、税理士、公認会計士等の専門家にご相談のうえ、ご確認ください。
◆ 本資料の一部または全部を、当社の事前の了承なく複製または転送等を行うことを禁じます。
◆ 本件に関するご照会は、ひろぎんHD経済産業調査部　担当：古谷（℡082-247-4958）までお願いします。